



補習校の交流活動(校内／被災地支援)

つながり・ぬくもりを大切に！

先週昼休みは、子どもたちが楽しみにしている生徒会企画の学年交流会が中庭や全校朝礼室で行われました。今年で3回目の企画、すっかり定着したようであちらこちらで子どもたちの弾ける声が聞こえました。中庭で行われた「ジャンケン列車」の小1と中2の学年交流では、ジャンケンで勝つたびに上がる歓声。大きいお姉ちゃんの肩に手をかける1年生、小さい1年生の肩に手をのせる中2のお兄ちゃん達。ここでも、みんなで同じ遊びを楽しんでいます。今後も、学年交流を通して、補習校の縦のつながりが更に深まって行く事を期待しています。



(小1と中2のジャンケン列車)

さて、「被災地の学校(石巻市立大谷地(おおやち)小学校)に元気を届けよう」と生徒会が取り組み、各学年で作成をしていただきました「寄せ書き」を本日2階廊下の壁面に掲載しています。10月より取り組んだ寄せ書き活動、生徒会の原案を基に1枚の大きな用紙に各学年ごとにアイデアを出しあい、土曜日ごと時間をかけて作り、この度全学年の寄せ書きが完成しました。

どの学年の「寄せ書き」もすばらしい出来です。寄せ書きは、フロリダ特有の青空と美しい海などの自然や風土を図案化し、色画用紙で切り取った魚や貝殻や動物の図案の中に自己紹介や補習校の様子を書き込んで貼り付けたり、現在頑張っている事を写真入で書き込んだ紹介のメッセージを掲載し、それぞれ一人ひとりの個性が溢れた「寄せ書き」となって完成しています。



(小5「寄せ書き」仕上げ)

東日本大震災から9ヶ月が経ったいま、被災地の復興は各地で少しずつ進んでいるとの報道で、被災地の子どもたちにとっては元気を取り戻しているもののまだまだ継続した励ましや支援が今後も必要とされます。日本全国から多くの励ましを受けている被災地の子どもたちにとっては、海外で暮らしている子どもたちと触れ合う機会が少ない中で、海外の異文化の中で生活し、学習に生活に頑張っている補習校の子どもたちの姿をこの寄せ書きを通して知ってもらい

新たな「つながり」になる事を願っています。「寄せ書き」は、今後、郵送にて被災地の交流校としてつながりの出来た大谷地小学校に送ります。保護者の皆様には、ご足労をおかけいたしますが、廊下に展示しています10枚の寄せ書きをじっくりご覧下さい。そして、先週は、PTA 主催のチャリティーサッカー教室が開催され、本日は、生徒会の義援金募集の活動が再開されています。様々な機会を通して被災地復興支援の活動を生徒も保護者も学校も継続していきたいと思ひます。